

平成22年2月

中崎博文 学位論文審査要旨

主 査 清 水 英 治
副主査 池 口 正 英
同 林 一 彦

主論文

肺小細胞癌細胞株におけるPTEN遺伝子変異の有無とTK/PI3K/AKT/mTOR経路の活性阻害を介した細胞増殖抑制効果の検討

(著者：中崎博文)

平成22年 米子医学雑誌 61巻 20頁～29頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は肺小細胞癌において増殖・進展に重要であるTK/PI3K/AKT/S6RPシグナル伝達経路に注目し、肺小細胞癌細胞株においてその抑制遺伝子であるPTEN遺伝子の蛋白発現について検討し、PTEN遺伝子変異を有する細胞ではPTEN蛋白の欠損のためTK/PI3K/AKT/mTORの細胞内シグナル伝達経路が活性化され、さらにこれらを阻害することでPTEN遺伝子変異のない細胞と比べより強く細胞増殖が抑制されることを示したものである。本論文の内容は、肺小細胞癌におけるPTEN遺伝子変異をバイオマーカーとした治療の可能性を示しており、臨床腫瘍学の分野において明らかに学術水準を高めたものと認める。